

【資料2】

日本ディスクロージャー研究学会第13回研究大会プログラム

2016年5月28日(土)
東京経営短期大学

■自由論題報告 (10:00~11:45)

司会：奥村 雅史 (早稲田大学)

第1報告 「IFRS任意適用の公表に対する株式市場の反応：企業間における差異を中心に」

金 鐘勲 (一橋大学大学院生)

第2報告 「監査の質が経営者業績予想の正確性に与える影響」

早川 翔 (神戸大学大学院生)・濱村 純平 (神戸大学大学院生)

司会：吉田 靖 (東京経済大学)

第3報告 「企業におけるリコール関連情報の動向と開示の方策」

張 夏玉 (専修大学)

第4報告 「連携事業における企業選定情報と知的資産経営報告の差異」

米岡 英治 (茨城キリスト教大学)

第5報告 「特許情報の株価への浸透過程の分析」

竹原 均 (早稲田大学)

井出 真吾 (ニッセイ基礎研究所)

■理事会 (11:50~12:50)

■会員総会 (12:50~13:30)

■特別プロジェクト最終報告 (13:35~15:35)

司会：黒川 行治 (慶應義塾大学)

第1報告 「負債と資本の中間項目の開示」

野口委員会

第2報告 「地域の再生エネルギーの展開とディスクロージャー」

村井委員会

第3報告 「日本企業のディスクロージャーにおける利益の平準化とその抑制」

國村委員会

■統一論題報告・パネルディスカッション（15：40～18：00）

テーマ 「現代社会におけるディスクロージャーの役割」

司会：柴 健次（関西大学）

第1報告 「地方自治体による発生主義財務情報開示の意義」

大塚 成男（千葉大学）

第2報告 「第三セクター方式の鉄道事業会社の経営とディスクロージャー」

鳥塚 亮（いすみ鉄道株式会社）

■懇親会（18：10～）